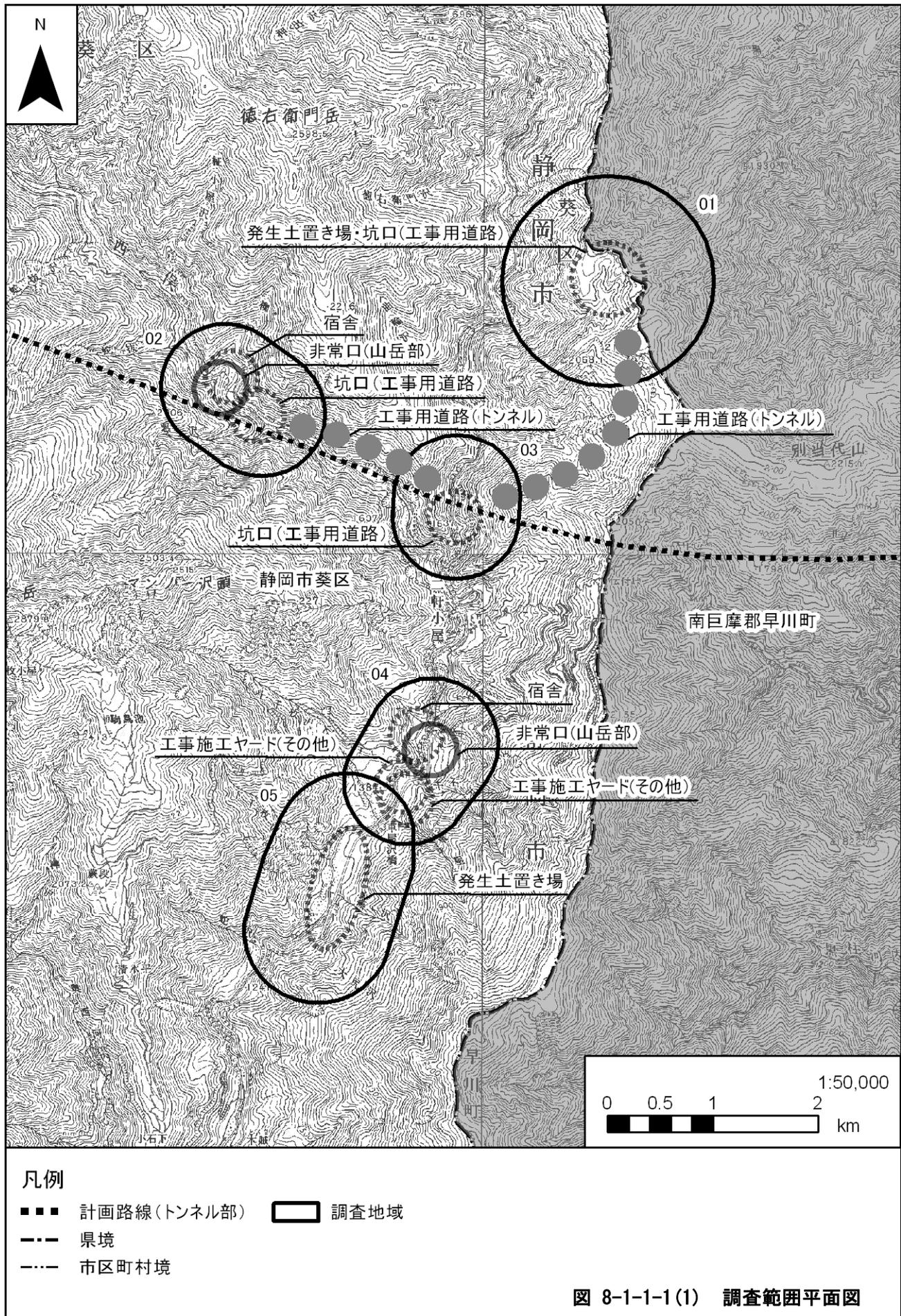


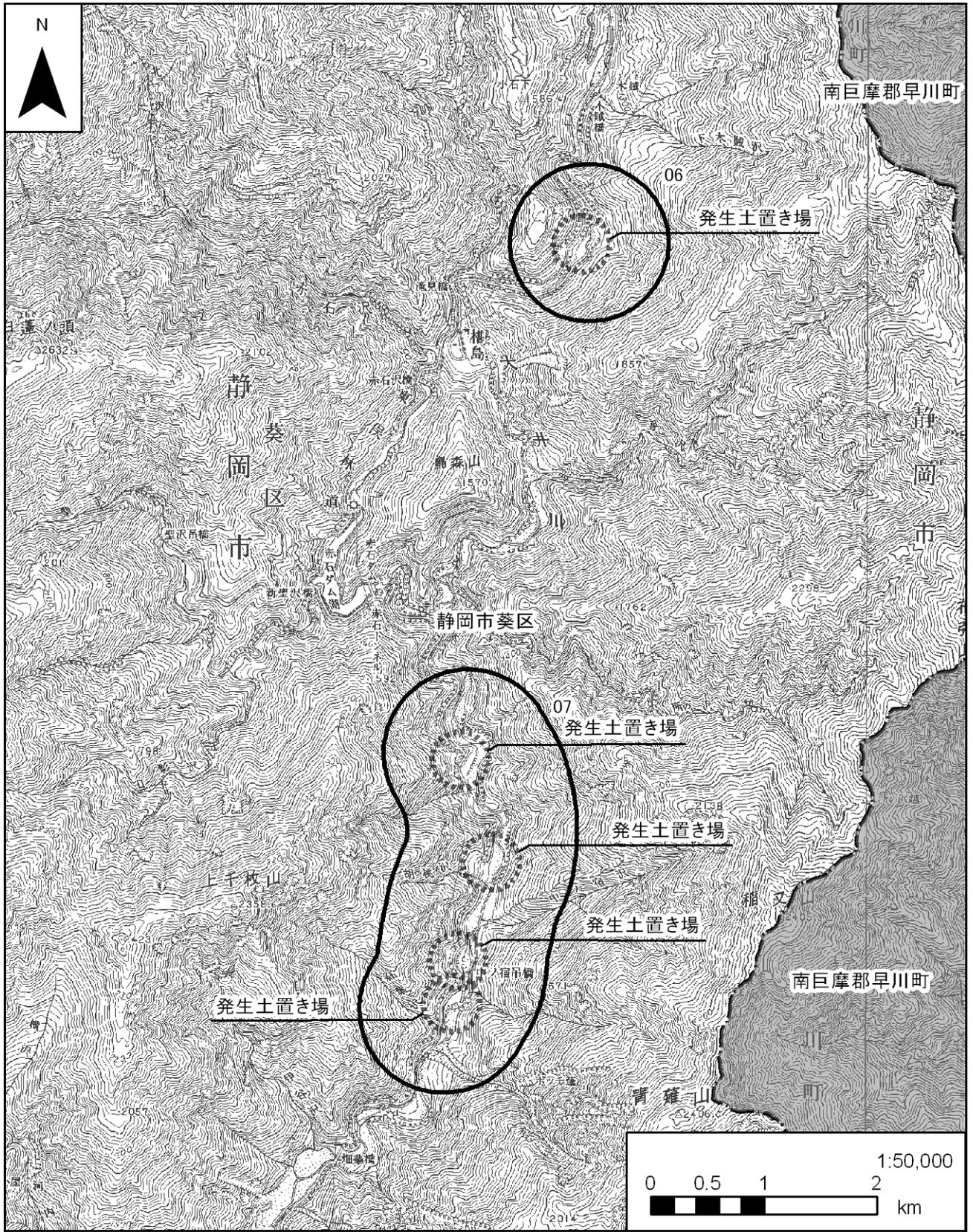
8 動物

8-1 動物出現種リスト

8-1-1 哺乳類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の哺乳類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-1-1 に、調査地域、調査時期別の哺乳類確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-1-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。





凡例

- 計画路線(トンネル部) 調査地域
- 県境
- - - 市区町村境

図 8-1-1-1(2) 調査範囲平面図

表 8-1-1-1 哺乳類確認種一覧（重要な種）

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期			
					春季	夏季	秋季	冬季
1	モグラ	トガリネズミ	カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephala</i>	●	●	●	
2	コウモリ	キクガシラコウモリ	ニホンキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum nippon</i>		●	●	
3			ニホンコキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus cornutus</i>			●	
4		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>			●	
5			ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i>		●	●	
6			クビワコウモリ	<i>Eptesicus japonensis</i>			●	
7			ニホンウサギコウモリ	<i>Plecotus auritus sacrimontis</i>		●	●	
8			ニホンテングコウモリ	<i>Murina leucogaster hilgendorfi</i>		●		
9			ニホンヨテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis silvatica</i>		●	●	
10			ネコ	イタチ	ホンドオコジョ	<i>Mustela erminea nippon</i>	●	
11	ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	●	●	●	●
12	ネズミ	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	●	●	●	●
13			ホンドモモンガ	<i>Pteromys momonga</i>	●	●	●	●
14		ニッコウムササビ	<i>Petaurista leucogenys nikkonis</i>	●	●	●	●	
15		ヤマネ	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i>	●	●	●	●
計	5目	7科	15種		7種	11種	14種	6種

注1. 分類、配列等は、原則として「種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧」(平成9年、環境庁)に準拠した。

表 8-1-1-2 哺乳類確認種一覧（重要な種以外）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																											
					01				02				03				04				05				06				07			
					春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
1	モグラ	トガリネズミ	ホンシュウトガリネズミ	<i>Sorex caecutiens shinto</i>		●																										
2			モグラ	ヒメヒミズ	<i>Dymecodon pilirostris</i>			●																					●			
3			ホンシュウヒミズ	<i>Urotrichus talpoides hondonis</i>																												
4			モグラ亜科	Talpinae sp.	●	●	●																									
5	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae sp.	●																											
-				コウモリ目	Chiroptera sp.	●																										
6	サル	オナガザル	ホンダザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>		●	●																									
7	ネコ	イヌ	ホンダヌキ	<i>Nyctereutes procyonides viverrinus</i>	●		●						●																			
8			ホンダキツネ	<i>Vulpes vulpes japonica</i>	●	●	●		●																							
9		イタチ	ホンダテン	<i>Martes melampus melampus</i>				●																								
10			ニホンアナグマ	<i>Meles meles anakuma</i>		●	●																									
-			イタチ科	Mustelidae sp.	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
11			クマ	ニホンツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus japonicus</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
12			ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>																											
13	ウシ	イノシシ	ニホンイノシシ	<i>Sus scrofa leucomystax</i>		●	●						●																			
14			シカ	ニホンジカ	<i>Cervus nippon nippon</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
-			ウシ目	Artiodactyla sp.	●				●					●	●													●				
15	ネズミ	リス	リス科	Sciuridae sp.		●	●	●																								
16			ネズミ	ニイガタヤチネズミ	<i>Eothenomys andersoni niigatae</i>	●																										
17				スミスネズミ	<i>Eothenomys smithii smithii</i>																											
18				ホンダアカネズミ	<i>Apodemus speciosus speciosus</i>																											
19				ホンダヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus argenteus</i>	●	●	●		●	●	●		●	●	●		●	●	●												
-			ネズミ科	Muridae sp.																												
20	ウサギ	ウサギ	キュウシュウノウサギ	<i>Lepus brachyurus brachyurus</i>	●	●	●	●	●					●																		
計	7目	13科	20種		10種	11種	12種	3種	8種	4種	6種	7種	7種	7種	9種	4種	11種	9種	9種	8種	11種	11種	11種	6種	9種	11種	9種	6種	14種	9種	9種	7種

注1. 分類、配列等は、原則として「種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧」(平成9年、環境庁)に準拠した。
 注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
 注3. バットディテクターで50kHz前後を確認したことからヒナコウモリ科は、アブラコウモリ、モモジロコウモリ等の可能性がある。
 注4. バットディテクターで20kHz前後を確認したことからコウモリ目は、ヤマコウモリ、ヒナコウモリ、クビワコウモリ、オヒキコウモリのいずれかの種である可能性がある。
 注5. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
 注6. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-1-2 鳥類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の鳥類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-2-1 に、調査地域、調査時期別の鳥類確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-2-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-2-1 鳥類確認種一覧（重要な種）

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				
					春季	繁殖期	夏季	秋季	冬季
1	キジ	キジ	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>	●		●	●	●
2	カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	●				
3	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>		●			
4	チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	●				
5	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>				●	
6		タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	●	●		●	
7			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	●	●	●	●	●
8			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	●	●	●	●	●
9			サシバ	<i>Butastur indicus</i>	●	●		●	
10			イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>	●	●	●	●	●
11			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	●	●	●	●	●
12	フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus sunia</i>		●			
13			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	●	●			
14	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	●	●	●	●	
15			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	●			●	
16	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	●	●	●	●	●
17	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>		●	●		●
18	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	●		●		
19		ヒタキ	ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>				●	
20			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	●	●		●	
計	10目	12科	20種		15種	13種	9種	13種	7種

注1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録 改定第7版」(平成24年、日本鳥学会)に準拠した。

8-1-3 爬虫類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の爬虫類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-3-1 に、調査地域、調査時期別の爬虫類確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-3-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-3-1 爬虫類確認種一覧（重要な種）

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期		
					春季	夏季	秋季
1	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	●	●	●
計	1目	1科	1種		1種	1種	1種

注1. 分類、配列等は原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(平成24年、日本爬虫両生類学会)に準拠した。

表 8-1-3-2 爬虫類確認種一覧（重要な種以外）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																						
					01			02			03			04			05			06			07				
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季		
1	有鱗	ナミヘビ	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>		●	●	●				●	●	●										●			
2			タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>																				●	●		
3			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>										●											●		
4			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>																					●		
5			ヒバカリ	<i>Amphiesma vibakari vibakari</i>			●							●													
6			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus tigrinus</i>																					●		●
7			クサリヘビ	ニホンマムシ	<i>Gloydus blomhoffii</i>																						●
計	1目	2科	7種		0種	1種	2種	1種	0種	0種	1種	3種	1種	1種	1種	0種	0種	2種	1種	0種	1種	1種	2種	2種	2種		

注1. 分類、配列等は原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(平成24年、日本爬虫両生類学会)に準拠した。
 注2. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
 注3. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-1-4 両生類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の両生類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-4-1 に、調査地域、調査時期別の両生類確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-4-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-4-1 両生類確認種一覧（重要な種）

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				重要種
					早 春 季	春 季	夏 季	秋 季	
1	有尾	サンショウウオ	ヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i>			●	●	●
2			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>	●	●	●	●	●
3	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	●	●	●	●	●
4		アカガエル	ナガレタゴガエル	<i>Rana sakuraii</i>	●		●	●	●
5		アオガエル	カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>		●	●	●	●
計	2目	4科	5種		3種	3種	5種	5種	5種

注1. 分類、配列等は原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(平成24年、日本爬虫両生類学会)に準拠した。

表 8-1-4-2 両生類確認種一覧（重要な種以外）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																											
					01				02				03				04				05				06				07			
					早 春 季	春 季	夏 季	秋 季																								
1	無尾	アカガエル	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>			●		●	●											●											
-			アカガエル属	<i>Rana sp.</i>			●								●	●							●			●	●	●		●		●
計	1目	1科	1種		0種	0種	1種	1種	1種	1種	0種	0種	0種	0種	1種	1種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	1種	0種	1種	1種	1種	0種	1種	0種	1種

注1. 分類、配列などは原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(平成24年、日本爬虫両生類学会)に準拠した。
 注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
 注3. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
 注4. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-1-5 昆虫類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の昆虫類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-5-1 に、調査地域、調査時期別の昆虫類確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-5-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-5-1 昆虫類確認種一覧（重要な種）

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期			
					春季	初夏	夏季	秋季
1	バッタ	キリギリス	スルガセモンササキリモドキ	<i>Nipponomeconema surugaense</i>				●
2		バッタ	ダカネヒナバッタ	<i>Chorthippus nipponmontanus</i>			●	
3	コウチュウ	コガネムシ	オオチヤイロハナムグリ	<i>Osmoderna opicum</i>			●	●
4		カミキリムシ	トゲムネアラゲカミキリ	<i>Aracca miyanoi</i>			●	
5	ハチ	アリ	ツノアカヤマアリ	<i>Formica lukaii</i>	●	●	●	●
6		スズメバチ	キオビホオチガスズメバチ	<i>Dolichovespula media media</i>			●	●
7		アナバチ	コウライヒソク	<i>Pison korecense</i>		●		
8	ハエ	ニセヒメガガンボ	アルフスニセヒメガガンボ	<i>Protoplasa alexandri</i>		●	●	
9	トビケラ	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ	<i>Ilymalopsyche japonica</i>	●	●	●	
10	チョウ	セセリチョウ	コキマダラセセリ	<i>Ochlodes venatus venatus</i>			●	
11		シロチョウ	クモマツマキチョウ八ヶ岳・南アルプス亜種	<i>Anthocharis cardamines havashii</i>	●			
12			ミヤマシロチョウ	<i>Aporia hippia japonica</i>		●		
13		ダウハナチョウ	コムウサキ	<i>Apatura metis substituta</i>		●	●	●
14			オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i>		●	●	
15		ジャノメチョウ	ベニヒカゲ本州亜種	<i>Irebia nipponica nipponica</i>			●	
16			ウラジャノメ本州亜種	<i>Lopinga achine achinoides</i>		●	●	
17		ヤママユガ	オナガミズアオ	<i>Actias gnoma gnoma</i>		●		
計	6目	14科	17種		3種	9種	12種	5種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（平成5年、平成7年、平成10年、環境庁）に準拠した。
 注2. ホシアンブトハバチは、「環境省第4次レッドリスト」公表前の調査において確認された種のため、重要種からは除外した。
 注3. ツノアカヤマアリは環境省第4次レッドリスト（平成24年）において指定されたため、秋季調査以降について重要種として選定した。

表8-1-5-2 (35) 昆虫類確認種一覧 (重要な種以外)

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																											
					01				02				03				04				05				06				07			
					春季	初夏	夏季	秋季																								
2513			ヒメクロアツバ	<i>Sinarella rotundipennis</i>																												
2514			ツマオビアツバ	<i>Zanclognatha griselda</i>		●	●			●	●	●			●	●	●			●	●	●			●	●	●					
2515			ウスイロアツバ	<i>Zanclognatha lilacina</i>		●	●													●	●	●			●	●	●					
2516			コブヒゲアツバ	<i>Zanclognatha lunalis</i>																●	●	●			●	●	●					
2517			アミメアツバ	<i>Zanclognatha reticulatis</i>																●												
2518			コウスグロアツバ	<i>Zanclognatha southi</i>																												
2519			ヒメツマオビアツバ	<i>Zanclognatha subgriselda</i>																												
-			ヤガ科	Noctuidae sp.																												
2520		トラガ	ベニモントラガ	<i>Sarbanissa venusta</i>																												
計	18目	292科	2520種		32種	189種	275種	144種	133種	411種	407種	322種	150種	369種	466種	291種	239種	485種	507種	352種	342種	552種	473種	397種	326種	490種	499種	304種	449種	651種	629種	414種

注1. 分類、配列等は、原則として日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ(平成5年, 平成7年, 平成10年、環境庁)に準拠した。
 注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
 注3. ホシアシトハバチは、「環境省第4次レッドリスト」公表前の調査において確認された種のため、重要種からは除外した。
 注4. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
 注5. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-1-6 魚類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の魚類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-6-1 に、調査地域、調査時期別の魚類認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-6-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-6-1 魚類確認種一覧（重要な種）

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期			
					春季	夏季	秋季	冬季
1	サケ	サケ	アマゴ	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	●	●	●	●
計	1目	1科	1種		1種	1種	1種	1種

注1. 分類、配列等は原則として、「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」(平成24年、国土交通省)に準拠した。

注2. ニッコウイワナは「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」(平成25年、環境省)において情報不足(DD)に選定されているが、大井川水系においては国内外来種であるため、重要種からは除外した。

表 8-1-6-2 魚類確認種一覧（重要な種以外）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																													
					01				02				03				04				05				06				07					
					春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
1	コイ	コイ	ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>																													●	●
2	サケ	サケ	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>		●		●		●	●	●		●				●	●	●		●		●			●		●	●			●	
-			イワナ類	<i>Salvelinus leucomaenis</i> subsp.	●				●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		
-			サケ科	Salmonidae sp.																												●		
計	2目	2科	2種		1種	1種	0種	1種	2種	2種	1種																							

- 注1. 分類、配列などは原則として、「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」(平成24年、国土交通省)に準拠した。
- 注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
- 注3. 大井川源流域のヤマトイワナは、体側に白色斑点が無く、朱紅～橙黄色斑点のみを有する個体群であったが、ニッコウイワナの放流によって亜種間の交雑が起こり、白色斑点を有する個体が増加した可能性が示唆されている(後藤ら、1998)。本調査では、後藤ら(1998)、細谷(2000)、古川(2001)、丸山(2001)の記述に従い、外部形態から便宜的に両亜種を区別した。また、イワナ類の斑点は未成年では十分に発現しないため、成熟個体が現れ始める体長10～13cm程度以上(丸山、1980)の個体について、亜種の区別を試みた。
 ・ヤマトイワナ:体側に朱紅色～橙黄色斑点のみが散在
 ・ニッコウイワナ:側線から腹側に橙黄色斑点が散在し、側線から背部にはより小さな白色斑が散在
 なお、便宜的な亜種の区別が困難な個体については、「イワナ類」として扱った。
- 注4. ニッコウイワナは「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」(平成25年、環境省)において情報不足(DD)に選定されているが、大井川水系においては国内外来種であるため、重要種からは除外した。
- 注5. 秋季はイワナ類の産卵時期であることから、目視による産卵床の確認を主とした調査を実施した。
- 注6. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
- 注7. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-1-7 底生動物

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の底生動物確認種一覧（重要な種）を表 8-1-7-1 に、調査地域、調査時期別の底生動物確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-7-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-7-1 底生動物確認種一覧（重要な種）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期			
						春季	夏季	秋季	冬季
1	昆虫	トビケラ(毛翅)	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ	<i>Himalopsyche japonica</i>	●	●	●	
2		ハエ(双翅)	アミカモドキ	ニホンアミカモドキ	<i>Deuterophlebia nipponica</i>		●		
3		ニセヒメガガンボ	Protoplasa属	Protoplasa属	<i>Protoplasa sp.</i>		●		
計	1綱	2目	3科	3種		1種	3種	1種	0種

注1. 分類、配列等は原則として、「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」(平成24年、国土交通省)に準拠した。
 注2. ニセヒメガガンボ科は、日本からはProtoplasa属の2種(エサキニセヒメガガンボ*P. esakii*とアルプスニセヒメガガンボ*P. alexanderi*)のみが知られている。幼虫による本属の種の同定は現状では不可能であるが、本邦産の2種とも環境省レッドリストで情報不足に選定されているため、底生動物調査において確認されたProtoplasa属の幼虫も、重要種として扱った。

表8-1-7-2 (3) 底生動物確認種一覧 (重要な種以外)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域																											
						01				02				03				04				05				06				07			
						春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
134				Pseudorthocladius属	<i>Pseudorthocladius</i> sp.				●																								
135				Rheocricotopus属	<i>Rheocricotopus</i> sp.	●				●												●											
136				Rheopelopia属	<i>Rheopelopia</i> sp.																												
137				Rheotanytarsus属	<i>Rheotanytarsus</i> sp.						●																						
138				Stictochironomus属	<i>Stictochironomus</i> sp.					●	●																						
139				Syndiamesa属	<i>Syndiamesa</i> sp.								●													●							
140				Tanytarsus属	<i>Tanytarsus</i> sp.	●																											
141				Thienemanniella属	<i>Thienemanniella</i> sp.																												
142				Tvetenia属	<i>Tvetenia</i> sp.																					●							
-				ユスリカ科	Chironomidae sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
143				カ	Anopheles属	<i>Anopheles</i> sp.																											
144				ホソカ	Dixa属	<i>Dixa</i> sp.		●																									
145				ブユ	Eusimulium属	<i>Eusimulium</i> sp.																											
146					Prosimulium属	<i>Prosimulium</i> sp.	●	●			●	●			●	●																	
147					Simulium属	<i>Simulium</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
148				ナガレアブ	クロモンナガレアブ	<i>Asuragina caerulescens</i>																											
149					ミヤマナガレアブ	<i>Atherix basilica</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
150					ハマダラナガレアブ	<i>Atherix ibis</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●															
-					ナガレアブ科	Athericidae sp.																											
151				アブ	アブ科	Tabanidae sp.																											
152				アシナガバエ	アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.																											
153				オドリバエ	オドリバエ科	Empididae sp.		●																									
154		コウチュウ(鞘翅)		ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ	<i>Agabus japonicus</i>					●																						
155					カノシマチビゲンゴロウ	<i>Oreodytes kanoi</i>																											
156					モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>																											
157					サワダマメゲンゴロウ	<i>Platambus sawadai</i>																											
158					クロマメゲンゴロウ	<i>Platambus stygius</i>																											
-					ゲンゴロウ科	Dytiscidae sp.																											
159				マルハナミ	マルハナミ科	Scirtidae sp.		●	●		●	●			●	●																	
160				ヒメドロムシ	スネアカヒメドロムシ	<i>Optioservus variabilis</i>																											
-					Optioservus属	<i>Optioservus</i> sp.																											
161				ヒラタドロムシ	マルヒゲナガハナミ	<i>Schinostethus brevis</i>																											
162				ナガハナミ	ナガハナミ科	Ptilodactylidae sp.																											
計	7綱	17目	63科	162種		31種	46種	38種	44種	47種	58種	63種	58種	40種	47種	45種	60種	40種	38種	39種	43種	47種	52種	62種	63種	59種	60種	58種	68種	57種	48種	70種	69種

注1. 分類、配列などは原則として、「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」(平成24年、国土交通省)に準拠した。
 注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
 注3. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
 注4. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-1-8 真正クモ類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の真正クモ類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-8-1 に、調査地域、調査時期別の真正クモ類確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-8-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-8-1 真正クモ類確認種一覧（重要な種）

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期	
					夏季	秋季
1	クモ	ユウレイグモ	アケボノユウレイグモ	<i>Belisana akebona</i>	●	●
2		ヒメグモ	シロタマヒメグモ	<i>Enoplognatha margarita</i>	●	
3			タカネヒメグモ	<i>Rugathodes nigrolimbatus</i>	●	
4		サラグモ	キヌキリグモ	<i>Herbiphantes cericeus</i>	●	●
5		コガネグモ	マルコブオニグモ	<i>Araneus rotundicornis</i>	●	
6			ニシキオニグモ	<i>Araneus variegatus</i>	●	●
7			オニグモ	<i>Araneus ventricosus</i>	●	●
8		ナミハグモ	エンシュウナミハグモ	<i>Cybaeus ensu</i>		●
9			ミヤマナミハグモ	<i>Cybaeus monticola</i>	●	
10			カニグモ	タカネエビスグモ	<i>Lysiteles maior</i>	
計	1目	6科	10種		8種	6種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産クモ類目録」(平成24年、谷川明男)に準拠した。

表8-1-8-2 (1) 真正クモ類確認種一覧（重要な種以外）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域													
					01		02		03		04		05		06		07	
					夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季
1	クモ	マンラグモ	フジヨコフマシラグモ	<i>Falcileptoneta striata fujisana</i>														
-			Falcileptoneta属	<i>Falcileptoneta</i> sp.					●			●	●				●	
2			Masirana属	<i>Masirana</i> sp.													●	
3		ヤギヌماغモ	ヤマトヤギヌماغモ	<i>Telema nipponica</i>	●											●	●	
4		ユウレイグモ	ユウレイグモ	<i>Pholcus crypticolens</i>											●			
5		タマゴグモ	Heteroonopus属	<i>Heteroonopus</i> sp.												●		
6			キハネグモ	<i>Orchestina flava</i>													●	
7		センショウグモ	アオグロセンショウグモ	<i>Ero cambridgei</i>														
8			センショウグモ	<i>Ero japonica</i>												●		
-			Ero属	<i>Ero</i> sp.												●		
9		ウズグモ	カタハリウズグモ	<i>Octonoba svbotides</i>													●	
10			エブウズグモ	<i>Octonoba yesoensis</i>	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	
-			Octonoba属	<i>Octonoba</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
11		ホラヒメグモ	コホラヒメグモ	<i>Nesticella brevipes</i>				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
12			Nesticus属	<i>Nesticus</i> sp.				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
-			ホラヒメグモ科	Nesticidae sp.													●	
13		ヒメグモ	ギボシヒメグモ	<i>Chikunia albipes</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
14			ホシミドリヒメグモ	<i>Chryso foliata</i>													●	
15			ヤホシヒメグモ	<i>Chryso octomaculata</i>														
16			シモフリミジグモ	<i>Diplocephala punctisparsa</i>			●	●	●	●		●	●			●	●	
17			Enoplognatha属	<i>Enoplognatha</i> sp.					●									
18			Episinus属	<i>Episinus</i> sp.														
19			ハラナガヒシガタグモ	<i>Moneta caudifera</i>													●	
20			クロササヒメグモ	<i>Okumaella okumae</i>													●	
21			ツリガネヒメグモ	<i>Parasteatoda angulithorax</i>						●		●	●				●	
22			カグヤヒメグモ	<i>Parasteatoda culicivora</i>													●	
23			ニホンヒメグモ	<i>Parasteatoda japonica</i>													●	
24			オオツリガネヒメグモ	<i>Parasteatoda tabulata</i>	●				●									
25			オオヒメグモ	<i>Parasteatoda tepidarium</i>			●		●								●	
-			Parasteatoda属	<i>Parasteatoda</i> sp.	●		●	●	●								●	
26			ツクネグモ	<i>Phoroncidia pilula</i>													●	
27			ヤマトミジグモ	<i>Phycosoma japonicum</i>													●	
28			カニミジグモ	<i>Phycosoma mustelinum</i>	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	
29			ムナボシヒメグモ	<i>Platnickina sterninotata</i>						●								
30			Rhomphaea属	<i>Rhomphaea</i> sp.														
31			オガタモリヒメグモ	<i>Robertus ogatai</i>													●	
-			Robertus属	<i>Robertus</i> sp.													●	
32			スネグロオチノヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>						●								
33			バラギヒメグモ	<i>Takayus chikunii</i>						●							●	
34			タカユヒメグモ	<i>Takayus takavensis</i>													●	
-			Takayus属	<i>Takayus</i> sp.													●	
35			Theridion属	<i>Theridion</i> sp.														
36			ボカシミジグモ	<i>Yaginumena castrata</i>													●	
37			シモフリヒメグモ	<i>Yunohamella lyrica</i>													●	
38			ユケヒメグモ	<i>Yunohamella subadulta</i>													●	
39			ユノハマヒメグモ	<i>Yunohamella yunohamensis</i>	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	
-			Yunohamella属	<i>Yunohamella</i> sp.	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	
-			ヒメグモ科	Theridiidae sp.	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	
40		カラカラグモ	ヤマジグモ	<i>Ogulnius pullus</i>													●	
41			カラカラグモ	<i>Theridiosoma epeiroides</i>													●	
42		ヨリメグモ	ヨリメグモ	<i>Conculus hyugadinus</i>													●	
43		コツブグモ	Mysmenella属	<i>Mysmenella</i> sp.													●	
44		ピモサラグモ	Weintrauboa属	<i>Weintrauboa</i> sp.													●	
45		サラグモ	サイトウヌカグモ	<i>Anerigone saitoi</i>	●													
46			コサラグモ	<i>Aprifrontalia mascula</i>														
47			フジヤミサラグモ	<i>Arcuphantes fujensis</i>														
-			Arcuphantes属	<i>Arcuphantes</i> sp.														
48			ヒメウスイロサラグモ	<i>Asthenargus matsudae</i>	●												●	
49			ニホンウスイロサラグモ	<i>Asthenargus nipponius</i>													●	
50			Bathypantes属	<i>Bathypantes</i> sp.	●													
51			ホラスカグモ	<i>Caviphantes samensis</i>													●	
52			マルサラグモ	<i>Centromerus sylvaticus</i>													●	
53			コデーニツツサラグモ	<i>Doenitzius pruvus</i>													●	
54			オノツノサラグモ	<i>Eldonna kavaensis</i>														
55			ヒゲナガヒザグモ	<i>Erigone longipalpis</i>	●													
56			ノコギリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>														
57			ヤマトケズネグモ	<i>Gonatium japonicum</i>														

表8-1-8-2 (2) 真正クモ類確認種一覧 (重要な種以外)

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域													
					01		02		03		04		05		06		07	
					夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季
58			Gongylidioides属	Gongylidioides sp.														
59			キノボリキヌキリグモ	Herbiphantes longiventris		●								●	●	●	●	
60			アズミヤセサラグモ	Himalaphantes azumiensis	●	●	●		●		●		●	●				
61			クロケシグモ	Meioneta nigra				●										
62			アシボツケシグモ	Meioneta tenuipes													●	
63			タテヤマテナガグモ	Microbathypantes tatevamaensis					●			●	●				●	●
64			コノハサラグモ	Microneta viaria								●						●
65			ハンモツクサラグモ	Neriere angulifera	●		●		●									
66			チビサラグモ	Neriere brongersmai				●			●							
67			フタスジサラグモ	Neriere limbatinella			●	●	●		●	●						
68			アシナガサラグモ	Neriere longipedella					●					●	●			●
69			コシロブチサラグモ	Neriere marginella	●		●		●					●	●			●
70			ムネグロサラグモ	Neriere nigripectoris									●		●			●
71			ヘリジロサラグモ	Neriere oideicata										●	●			●
-			Neriere属	Neriere sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
72			ハシグロナンキングモ	Neserigone nigriterminorum					●									
73			アマリケシグモ	Nippononeta subnigra						●								
-			Nippononeta属	Nippononeta sp.						●								
74			イマダテテングヌカグモ	Oia imadatei	●		●	●	●	●	●		●					
75			ヌカグモ	Paratmeticus bipunctis		●		●		●		●		●				●
76			ヤマトオオイヤマケシグモ	Ryojius japonicus						●								
77			カラフトヤセサラグモ	Sachaliphantes sachalinensis										●				
78			ミノブコヌカグモ	Saitonia oiuroensis						●								
79			サザナミサラグモ	Strandella fluctimaculata	●	●												
80			ヨツボシサラグモ	Strandella quadrimaculata	●	●			●									
81			ヒメヨツボシサラグモ	Strandella vaginumai										●		●		●
-			Strandella属	Strandella sp.		●			●	●	●		●		●		●	●
82			ニシキサラグモ	Taranucnus nishikii						●								●
83			ユノハマサラグモ	Turinyphia yunohamensis									●	●	●		●	●
84			セスジアカムネグモ	Ummeliata insecticeps														●
85			チョビヒゲヌカグモ	Walckenaeria golovatchi										●				
86			フタエツノヌカグモ	Walckenaeria keikoeae														
-			サラグモ科	Linyphiidae sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
87	アシナガグモ		コシロカネグモ	Leucauge subblanda	●		●		●									●
88			キララシロカネグモ	Leucauge subgemma														●
-			Leucauge属	Leucauge sp.			●											
89			キンヨウグモ	Menosira ornata				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90			サンロウドヨウグモ	Meta japonica	●		●		●		●	●				●	●	
91			チクニドヨウグモ	Metleucauge chikunii									●					
92			キタドヨウグモ	Metleucauge vaginumai										●				
93			メガネドヨウグモ	Metleucauge yunohamensis	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●
94			トガリアシナガグモ	Tetragnatha caudicula											●			
95			ミドリアシナガグモ	Tetragnatha pinicola	●		●	●							●			
96			エゾアシナガグモ	Tetragnatha yesoensis					●				●	●				●
-			Tetragnatha属	Tetragnatha sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
97	ジョロウグモ		ジョロウグモ	Nephila clavata						●				●				
98	コガネグモ		オオクマヤミイロオニグモ	Araneus acuisetus						●								●
99			ホシマメオニグモ	Araneus hoshi									●					
100			イシサワオニグモ	Araneus ishizawai	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
101			マメオニグモ	Araneus nojimai	●				●									
102			コケオニグモ	Araneus seminiger										●				
103			ツノオニグモ	Araneus stella									●					
104			カラオニグモ	Araneus tsurusakii														●
-			Araneus属	Araneus sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
105			ムツボシオニグモ	Araniella vaginumai	●		●		●						●			●
-			Araniella属	Araniella sp.	●	●	●	●		●				●				●
106			ナガコガネグモ	Argiope bruennichi										●	●			●
107			クマダギンナガゴミグモ	Cyclosa kumadai														●
108			ゴミグモ	Cyclosa octotuberculata						●								
109			ヨツデゴミグモ	Cyclosa sedeculata														●
-			Cyclosa属	Cyclosa sp.			●	●				●		●		●		●
110			キンカタハリオニグモ	Eriophora aurea	●													
111			カラフトオニグモ	Eriophora sachalinensis	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			Eriophora属	Eriophora sp.		●												
112			キザハシオニグモ	Gibbaranea abscissa					●	●	●	●	●	●				●
113			シロスジジョウジョウグモ	Hypsosinga sanguinea				●						●	●			●
114			Larinia属	Larinia sp.										●	●			●

表8-1-8-2 (3) 真正クモ類確認種一覧 (重要な種以外)

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域														
					01		02		03		04		05		06		07		
					夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	
115			ワキグロサツマノミダマシ	<i>Neoscona melloteei</i>															
116			ヤマシロオニグモ	<i>Neoscona scylla</i>															
117			コオニグモモドキ	<i>Pronoides brunneus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
118			ナガテオニグモ	<i>Singa hamata</i>															
-			コガネグモ科	<i>Araneidae sp.</i>			●		●	●	●	●	●						
119		コモリグモ	カワベコモリグモ	<i>Arctosa kawabe</i>															
-			Arctosa属	<i>Arctosa sp.</i>															
120			ヤマハリゲコモリグモ	<i>Pardosa brevivulva</i>			●	●	●										
121			エゾコモリグモ	<i>Pardosa lugubris</i>	●	●													
122			キシベコモリグモ	<i>Pardosa vaginumai</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			Pardosa属	<i>Pardosa sp.</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
123			ナミコモリグモ	<i>Piratula vaginumai</i>											●				
124			Pirata属	<i>Pirata sp.</i>															
125			アライトコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>															
-			Trochosa属	<i>Trochosa sp.</i>															
126			モリコモリグモ	<i>Xerolycosa nemoralis</i>	●		●								●	●			
-			コモリグモ科	<i>Lycosidae sp.</i>					●										
127		サシアシグモ	シノビグモ	<i>Shinobius orientalis</i>								●		●		●	●		
128		キシダグモ	アオグロハシグモ	<i>Dolomedes raptor</i>															
129			アズマキシダグモ	<i>Pisaura lama</i>												●	●		●
130		ササグモ	コウライササグモ	<i>Oxyopes koreanus</i>															
131		ミヤマシボグモ	ミヤマシボグモモドキ	<i>Zora nemoralis</i>															
-			Zora属	<i>Zora sp.</i>															
132		タナグモ	コクサグモ	<i>Allagelena opulenta</i>															
-			Allagelena属	<i>Allagelena sp.</i>															
133			ホラズミヤチグモ	<i>Coelotes antri</i>															
134			クロヤチグモ	<i>Coelotes exitialis</i>			●		●	●									
135			フタバヤチグモ	<i>Coelotes hamamurai</i>				●											
136			アズマヤチグモ	<i>Coelotes kitazawai</i>				●											
-			Coelotes属	<i>Coelotes sp.</i>				●											
137			Iwogumoa属	<i>Iwogumoa sp.</i>	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
138			Tegecoelotes属	<i>Tegecoelotes sp.</i>	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			タナグモ科	<i>Agelenidae sp.</i>					●							●			
139		ナミハグモ	ザラナミハグモ	<i>Cybaeus communis</i>	●				●										
140			カチドキナミハグモ	<i>Cybaeus nipponicus</i>	●	●	●	●											
-			Cybaeus属	<i>Cybaeus sp.</i>	●		●	●	●										
141		ハタケグモ	Cryphoeca属	<i>Cryphoeca sp.</i>															
142			ハタケグモ	<i>Hahnina corticicola</i>															
143			タロウヤマハタケグモ	<i>Hahnina nava</i>															
144		ハグモ	ネコハグモ	<i>Dictyna felis</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
145			ヒナハグモ	<i>Dictyna foliicola</i>															
-			Dictyna属	<i>Dictyna sp.</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
146			カレハグモ	<i>Lathys annulata</i>															
147			ムツメカレハグモ	<i>Lathys sexoculata</i>															
-			Lathys属	<i>Lathys sp.</i>															
148		ガケジグモ	セスジガケジグモ	<i>Taira flavidorsalis</i>															
-			ガケジグモ科	<i>Amurobiidae sp.</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
149		ヤマトガケジグモ	ヤマトガケジグモ	<i>Nurscia albofasciata</i>															
150		イツツグモ	ナガイイツツグモ	<i>Anyphaena ayshides</i>	●														
-			Anyphaena属	<i>Anyphaena sp.</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
151		ウエムラグモ	ミヤマタンボグモ	<i>Agroeca montana</i>															
-			Agroeca属	<i>Agroeca sp.</i>															
152			イタチグモ	<i>Itatsina praticola</i>															
153		フクログモ	アカギフクログモ	<i>Clubiona akagiensis</i>	●	●													
154			チクニフクログモ	<i>Clubiona chikunii</i>															
155			イナフクログモ	<i>Clubiona inaensis</i>															
156			ヤマトフクログモ	<i>Clubiona japonica</i>															
157			マイコフクログモ	<i>Clubiona rostrata</i>															
-			Clubiona属	<i>Clubiona sp.</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
158		ネコグモ	コムラウラシマグモ	<i>Otacilia komurai</i>															
-			Otacilia属	<i>Otacilia sp.</i>															
159			イナズマウラシマグモ	<i>Phrurolithus claripes</i>															
160			ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>															
161			ヤバネウラシマグモ	<i>Phrurolithus pennatus</i>															
-			Phrurolithus属	<i>Phrurolithus sp.</i>															
162			ネコグモ	<i>Trachelas japonicus</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			ネコグモ科	<i>Corinnidae sp.</i>	●		●												

表8-1-8-2 (4) 真正クモ類確認種一覧 (重要な種以外)

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域													
					01		02		03		04		05		06		07	
					夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季
163		ワシグモ	ヤマヨリメケムリグモ	<i>Drassyllus sasakawai</i>														
164			チクニヨリメケムリグモ	<i>Drassyllus shaanxiensis</i>					●									●
165			カワラメキリグモ	<i>Gnaphosa kamurai</i>									●					●
166			メキリグモ	<i>Gnaphosa kompirensis</i>														●
-			Gnaphosa属	<i>Gnaphosa</i> sp.				●								●		●
167			クロチャケムリグモ	<i>Zelotes asiaticus</i>														●
-			ワシグモ科	Gnaphosidae sp.		●		●		●		●	●			●		●
168		アシダカグモ	コアシダカグモ	<i>Sinopoda forcipata</i>				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
169		エビグモ	コガネエビグモ	<i>Philodromus aureolus</i>									●					●
170			キハダエビグモ	<i>Philodromus spinitarsis</i>				●	●	●								
171			アサヒエビグモ	<i>Philodromus subaureolus</i>														●
-			Philodromus属	<i>Philodromus</i> sp.		●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●
172			ヤマトヤドカリグモ	<i>Thanatus nipponicus</i>														●
173			Tibellus属	<i>Tibellus</i> sp.				●										
174		カニグモ	キハダカニグモ	<i>Bassaniana decorata</i>									●					●
175			ギョウジャグモ	<i>Diaea gyoja</i>	●	●			●	●	●	●					●	
176			コハナグモ	<i>Diaea subdola</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
177			クマダハナグモ	<i>Ebelingia kumadai</i>														●
178			ハナグモ	<i>Ebrechtella tricuspadata</i>		●				●		●	●	●	●	●	●	●
179			アマギエビスグモ	<i>Lysiteles coronatus</i>			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			Lysiteles属	<i>Lysiteles</i> sp.	●	●							●					
180			ワカバグモ	<i>Oxytate striatipes</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
181			マルオチバカニグモ	<i>Ozyptila fukushimai</i>					●	●								
-			Ozyptila属	<i>Ozyptila</i> sp.					●									
182			ガザミグモ	<i>Pistius undulatus</i>											●	●	●	
183			チクニエビスグモ	<i>Synema chikunii</i>								●	●	●				
184			フノジグモ	<i>Synema globosum</i>									●					●
185			トラフカニグモ	<i>Tmarus piger</i>														●
186			セマルトラフカニグモ	<i>Tmarus rimosus</i>								●	●	●	●	●	●	●
187			ホシクロボシカニグモ	<i>Xysticus atrimaculatus</i>											●			
188			ヤマイロカニグモ	<i>Xysticus croceus</i>														●
189			チシマカニグモ	<i>Xysticus kurilensis</i>								●		●	●	●		
190			ヨコフカニグモ	<i>Xysticus transversomaculatus</i>														●
191			オビボソカニグモ	<i>Xysticus trizonatus</i>									●					●
-			Xysticus属	<i>Xysticus</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
192		ハエトリグモ	ネコハエトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>														●
193			マミジロハエトリ	<i>Evarcha albaria</i>				●					●	●	●	●	●	●
-			Evarcha属	<i>Evarcha</i> sp.				●		●		●	●	●	●	●	●	●
194			ジャバラハエトリ	<i>Helicium vaginumai</i>								●	●	●				
195			エキスハエトリ	<i>Laufeia aenea</i>														●
-			Laufeia属	<i>Laufeia</i> sp.														●
196			オオハエトリ	<i>Marpissa milleri</i>									●	●				
-			Marpissa属	<i>Marpissa</i> sp.								●						
197			ヤハズハエトリ	<i>Mendoza elongata</i>														●
-			Mendoza属	<i>Mendoza</i> sp.														●
198			アリグモ	<i>Myrmarachne japonica</i>														●
-			Myrmarachne属	<i>Myrmarachne</i> sp.														●
199			Neon属	<i>Neon</i> sp.														●
200			マガネアサヒハエトリ	<i>Phintella arenicolor</i>				●		●	●	●	●	●	●	●	●	
201			キアシハエトリ	<i>Phintella bifurcilinea</i>														●
202			メガネアサヒハエトリ	<i>Phintella linea</i>				●										
203			アサヒハエトリ	<i>Phintella parva</i>							●				●		●	●
-			Phintella属	<i>Phintella</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
204			マダラスジハエトリ	<i>Plexippoides annulipedis</i>				●										
205			デーニツハエトリ	<i>Plexippoides doenitzi</i>								●	●	●	●	●	●	●
206			Rhene属	<i>Rhene</i> sp.														●
207			アメイロハエトリ	<i>Synagelides agoriformis</i>				●										
208			ウススジハエトリ	<i>Yaginumaella striatipes</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			ハエトリグモ科	Salticidae sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
計	1目	36科	208種		45種	42種	44種	47種	60種	55種	49種	78種	60種	83種	62種	67種	85種	75種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産クモ類目録」(平成24年、谷川明男)に準拠した。
 注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
 注3. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
 注4. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-1-9 陸産貝類

山岳トンネル、非常口（山岳部）を対象に工事の実施及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在に伴う影響の調査における調査時期別の陸産貝類確認種一覧（重要な種）を表 8-1-9-1 に、調査地域、調査時期別の陸産貝類確認種一覧（重要な種以外）を表 8-1-9-2 に示す。調査地域は図 8-1-1-1 に示す。なお、希少種保護の観点から、重要な種は調査地域別に示していない。

表 8-1-9-1 陸産貝類確認種一覧（重要な種）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期		
						夏季	秋季	
1	腹足	オカミガイ(原始有肺) マイマイ(柄眼)	ケシガイ	ケシガイ	<i>Carychium pessimum</i>	●	●	
2			キセルガイ	ツメギセル	<i>Mundiphaedusa rhopalia</i>	●		
3			ベッコウマイマイ	カントウベッコウ	<i>Bekkochlamys septentrionalis</i>	●	●	
4				スカシベッコウ	<i>Bekkochlamys serenus</i>	●	●	
5				ハクサンベッコウ	<i>Nipponochlamys hakusanus</i>		●	
6				トガリキビ	<i>Parakaliella acutanguloides</i>	●	●	
7				ヒゼンキビ	<i>Parakaliella hizenensis</i>	●		
8				ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i>	●	●	
9				スジキビ	<i>Parakaliella ruida</i>	●	●	
10				オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>	●	●	
11				ニッポンマイマイ	ビロウドマイマイ属の一種※	<i>Nipponochloritis</i> sp.		●
12				(ナンバンマイマイ)	ミノブマイマイ	<i>Satsuna moellendorffiana thaanumi</i>	●	
13				オナジマイマイ	カドコオオベソマイマイ	<i>Aegista proba goniosoma</i>		●
計	1綱	2目	5科	13種		10種	10種	

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅲ」（平成10年、環境庁）に準拠した。

※ ビロウドマイマイ属の一種(*Nipponochloritis* sp.)は、本属に含まれる種のすべてが重要種となる。

表 8-1-9-2 陸産貝類確認種一覧（重要な種以外）

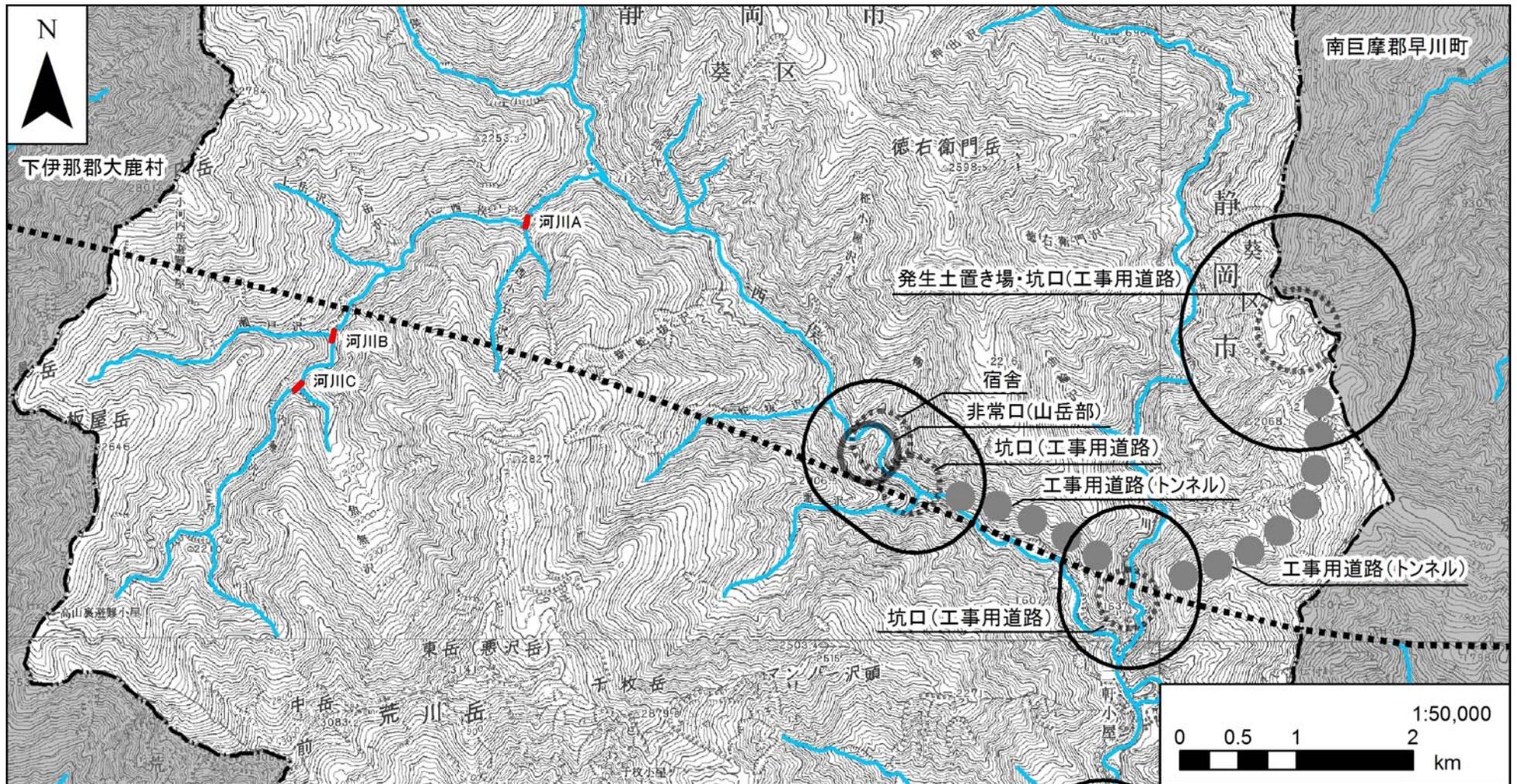
No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域														
						01		02		03		04		05		06		07		
						夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	夏季	秋季	
1	腹足	オキナエビス(原始腹足)	ヤマキサゴ	ヤマキサゴ	<i>Waldemaria japonica</i>		●		●		●				●					
2		ニナ(中腹足)	ムシオイガイ	ハリマムシオイガイ	<i>Chamalycaeus japonicus</i>							●	●	●		●				
3			ゴマガイ	ゴマガイ	ゴマガイ	<i>Diplommatina cassa</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
4				イブキゴマガイ	イブキゴマガイ	<i>Diplommatina labiosa labiosa</i>	●	●			●	●					●			
5				ヒダリマキゴマガイ	ヒダリマキゴマガイ	<i>Palaina pusilla pusilla</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	オカミマイ(柄眼)	ケシガイ	ニホンケシガイ	<i>Carychium nipponense</i>							●		●	●	●		●	●		
7		キセルガイ	ツムガタギセル	<i>Pinguiphaedusa pinguis platydera</i>							●	●							●	
8		オカチョウジガイ	オカチョウジガイ	<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>			●	●	●											
9		ナタネガイ	ミジンナタネ	<i>Punctum atomus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
10		バツラマイマイ	バツラマイマイ	<i>Discus pauper</i>							●	●		●						
11		コハクガイ	オオコハクガイ	<i>Zonitoides nitidus</i>							●	●		●						
12		ベッコウマイマイ	ヒメベッコウガイ	ヒメベッコウガイ	<i>Discoconulus sinapidium</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
13			ヤクシマヒメベッコウ	ヤクシマヒメベッコウ	<i>Discoconulus yakuensis</i>		●				●		●	●	●	●	●	●	●	
14			ヒメベッコウ属の一種1(カスミヒメベッコウ)	ヒメベッコウ属の一種1(カスミヒメベッコウ)	<i>Discoconulus</i> sp. 1		●				●	●		●	●	●		●	●	
15			ヒメベッコウ属の一種2	ヒメベッコウ属の一種2	<i>Discoconulus</i> sp. 2		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
16			キビガイ	キビガイ	<i>Gastrodontella multivolvis</i>														●	●
17			ハクサンベッコウ属の一種(未記載種)	ハクサンベッコウ属の一種(未記載種)	<i>Nipponochlamys</i> sp. (New species)	●	●			●									●	●
18			ハリマキビ	ハリマキビ	<i>Parakaliella harimensis</i>		●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●
19			ハリマキビ属の一種(トガリキビ類似種)	ハリマキビ属の一種(トガリキビ類似種)	<i>Parakaliella</i> sp. aff. <i>acutanguloides</i>									●						
20			カサキビ	カサキビ	<i>Trochochlamys crenulata</i>			●	●							●	●	●		
21			ナミヒメベッコウ属の一種(幼貝)	ナミヒメベッコウ属の一種(幼貝)	<i>Yamatochlamys</i> sp. (Juv.)	●														●
22		ニッポンマイマイ(ナンバンマイマイ)	ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica japonica</i>															●	
23		オナジマイマイ	オオケマイマイ	<i>Aegista vulgivaga vulgivaga</i>														●		
24			ミスジマイマイ	ミスジマイマイ	<i>Euhadra peliomphala peliomphala</i>				●	●		●				●	●			
計	1綱	4目	12科	24種		4種	12種	8種	10種	8種	9種	12種	11種	11種	12種	10種	12種	13種	14種	

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅲ」(平成10年、環境庁)に準拠した。
 注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
 注3. 各季節の調査実施日は、本編 第8章 動物の表8-4-1-3に示す。
 注4. 希少種保護の観点から、重要な種は記載していない。

8-2 山岳トンネル上部における沢周辺の調査結果

8-2-1 調査地点

山岳トンネル区間において貴重な動物が生息する可能性のある沢を選定し、調査範囲を設定した。調査範囲を図 8-2-1-1 に示す。



凡例

- 計画路線(トンネル部)
- 調査範囲
- 県境
- 市区町村境
- 河川

図 8-2-1-1 調査範囲図

8-2-2 調査結果

(1) 哺乳類

重要な哺乳類は確認されなかった。

(2) 鳥類

重要な鳥類は確認されなかった。

(3) 爬虫類

現地調査により確認された重要な爬虫類は1目1科1種であった。現地で確認された重要な爬虫類とその選定基準を表 8-2-2-1 に示す。

表 8-2-2-1 山岳トンネル区間の沢において確認された重要種（爬虫類）

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	⑥	⑦	⑨	⑩	⑬
1	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ						N-II	
計	1目	1科	1種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」（平成24年、日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）

国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種

⑥「静岡県文化財保護条例」（昭和36年静岡県条例第23号）

「静岡市文化財保護条例」（平成15年条例第281号）

県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

⑦「静岡県希少野生動植物保護条例」（平成23年、静岡県条例第37号）

指定：指定希少野生動植物、特定：特定希少野生動植物

⑨「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）

「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

⑩「まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-動物編2004」（平成16年、静岡県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、

NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N-I：要注目種（現状不明）、

N-II：要注目種（分布上注目種等）、N-III：要注目種（部会注目種）

⑬ 専門家の助言により選定した種

○：選定した種

(4) 両生類

現地調査により確認された重要な両生類は2目2科2種であった。現地で確認された重要な両生類とその選定基準を表 8-2-2-2 に示す。

表 8-2-2-2 山岳トンネル区間の沢において確認された重要種（両生類）

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	⑥	⑦	⑨	⑩	⑬
1	有尾	サンショウウオ	ハコネサンショウウオ※						VU	
2	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル※						N-III	
計	2目	2科	2種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」（平成24年、日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ⑥「静岡県文化財保護条例」（昭和36年静岡県条例第23号）
「静岡市文化財保護条例」（平成15年条例第281号）
県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物
- ⑦「静岡県希少野生動植物保護条例」（平成23年、静岡県条例第37号）
指定：指定希少野生動植物、特定：特定希少野生動植物
- ⑨「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）
「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、
VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑩「まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-動物編2004」（平成16年、静岡県）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、
NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N-I：要注目種（現状不明）、
N-II：要注目種（分布上注目種等）、N-III：要注目種（部会注目種）
- ⑬専門家の助言により選定した種
○：選定した種

※：河川、沢水に依存すると考えられる種

(5) 昆虫類

現地調査により確認された重要な昆虫類は1目3科5種であった。現地で確認された重要な昆虫類とその選定基準を表 8-2-2-3 に示す。

表 8-2-2-3 山岳トンネル区間の沢において確認された重要種（昆虫類）

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	⑥	⑦	⑨	⑩	⑬
1	チョウ	シロチョウ	クモツマキチョウ八ヶ岳・南アルプス亜種					NT	VU	
2			ミヤマシロチョウ					VU	N-II	
3		タテハチョウ	コムラサキ						N-II	
4		ジャノメチョウ	クモマベニヒカゲ本州亜種					NT	N-II	
5			ベニヒカゲ本州亜種					NT	N-II	
計	1目	3科	5種	0種	0種	0種	0種	4種	5種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（平成5年、平成7年、平成10年、環境庁）に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）

国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種

⑥「静岡県文化財保護条例」（昭和36年静岡県条例第23号）

「静岡市文化財保護条例」（平成15年条例第281号）

県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

⑦「静岡県希少野生動植物保護条例」（平成23年、静岡県条例第37号）

指定：指定希少野生動植物、特定：特定希少野生動植物

⑨「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）

「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

⑩「まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-動物編2004」（平成16年、静岡県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、

NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N-I：要注目種（現状不明）、

N-II：要注目種（分布上注目種等）、N-III：要注目種（部会注目種）

⑬専門家の助言により選定した種

○：選定した種

(6) 魚類

重要な魚類は確認されなかった。

(7) 底生動物

現地調査により確認された重要な底生動物は1目1科1種であった。現地で確認された重要な底生動物とその選定基準を表 8-2-2-4 に示す。

表 8-2-2-4 山岳トンネル区間の沢において確認された重要種（底生動物）

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	⑥	⑦	⑨	⑩	⑬
1	トビケラ	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ※					NT		
計	1目	1科	1種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」（平成24年、国土交通省）に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ⑥「静岡県文化財保護条例」（昭和36年静岡県条例第23号）
「静岡市文化財保護条例」（平成15年条例第281号）
県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物
- ⑦「静岡県希少野生動植物保護条例」（平成23年、静岡県条例第37号）
指定：指定希少野生動植物、特定：特定希少野生動植物
- ⑨「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）
「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑩「まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-動物編2004」（平成16年、静岡県）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、
NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N-I：要注目種（現状不明）、
N-II：要注目種（分布上注目種等）、N-III：要注目種（部会注目種）
- ⑬専門家の助言により選定した種
○：選定した種

※：河川、沢水に依存すると考えられる種

8-2-3 影響について

山岳トンネル区間においては、動物の生息環境である沢の水質及び水位と関係する地下水の水質及び水位による影響について「本編 8-2-3 地下水の水質及び水位」で示すとおり、トンネル区間全般としては地下水の水質及び水位への影響は小さいものの、破碎帯等の周辺の一部においては、地下水の水位への影響を及ぼす可能性があるとして予測していることから、トンネル上部の沢に生息し沢水に依存する動物への影響については、トンネル区間全般では影響は小さいものの、破碎帯等の周辺の一部においては、影響を及ぼす可能性があると考えられる。

今後は、高橋の方法による予測検討範囲内において、評価書において調査した箇所以外の沢についても、文献調査等により重要種が存在する可能性がある場合には、代表的な箇所を

選定して調査を行う。また、工事中は、「本編 8-2-4 水資源」において環境影響評価法に基づく事後調査として実施する予測検討範囲内にある河川や沢の流量とともに、トンネルの湧水を測定して、減水の傾向が認められ水資源への影響の可能性が考えられる場合には、その影響の程度や範囲に応じた動物のモニタリングを行う。その結果、重要種への影響が確認された場合には、「動物個体の移植」などの環境保全措置を講じる。

8-3 林道東俣線等に関する動物調査

林道東俣線等では、山側からの土砂の流入や川側のガードレール及び土留め壁等の損傷が発生している。一方、工事の実施にあたり資材等の搬入、発生土の運搬等のため、林道東俣線等を使用する必要がある。使用に際しては、必要な区間において、道路面へ崩落した堆積土砂の排除及び道路面の舗装等を行う計画である。また、冬季期間中も工事を実施する計画としている。

そのため、林道東俣線等の周辺において舗装工事により重要な種への影響のおそれがあることから、林道周辺を生息環境とする重要な種（爬虫類、両生類、昆虫類、真正クモ類及び陸産貝類）に関する調査を実施した。また、工事中の濁水等及び凍結防止剤により重要な種への影響のおそれがあることから、林道沿いの河川を生息環境とする重要な種（哺乳類（カワネズミ）、魚類、底生動物）に関する調査を実施した。また、調査において確認された重要な種への影響について予測及び評価を行った。

8-3-1 調査方法

哺乳類、爬虫類、両生類、昆虫類、魚類、底生動物、真正クモ類及び陸産貝類の状況について表 8-3-1-1 に示す方法により調査した。生息が確認された種の内、表 8-3-1-2 に示す基準に該当するものを重要な種として選定した。なお、重要な種の選定にあたっては、必要に応じて専門家の指導・助言を受け、選定した。

調査範囲は、林道東俣線全線、特種東海製紙㈱の管理用道路（二軒小屋ゲート～西俣・二軒小屋発電所付近及び東俣・坑口（工事用道路）付近）までの区間とし、「本編 8-4-1 動物」の調査において既に調査範囲が設定されている区間はその結果を用いた。また、調査幅は林道端から 50m の範囲とした。

表 8-3-1-1 動物の調査方法

調査項目	調査方法	
哺乳類(カワネズミ)	捕獲調査	調査地域内に設定した調査地点・範囲(河川)において、カゴワナを用いてカワネズミを捕獲した。
爬虫類・両生類	任意確認	調査地域内を任意に踏査し、目視観察及び捕獲、鳴き声等により確認された両生類・爬虫類の種名、個体数、確認位置等を記録した。なお、昼間は目視により個体を確認し、夜間はカエル類の鳴き声等を確認した。
昆虫類	任意採集	調査地域内を任意に踏査し、目視観察及び鳴き声等で確認された昆虫類の種名を記録した。また、目視観察で種名の確認が困難な場合は、捕虫網等を用いて採集した。なお、捕虫網を振り回し昆虫類を採集するスウィーピング法、樹木の枝、葉等を叩き、付着している昆虫類を採集するビーティング法も併用した。また、現地での種の識別が困難なものは、標本として持ち帰り、同定を行った。
魚類	任意採集	調査地域内に設定した調査地点・範囲(河川)において、各種漁具(投網、タモ網、電気ショッカー、釣り)を用いて任意に魚類を採取し、種名、個体数、確認環境等を記録した。また、潜水による目視観察も行った。なお、現地での種の識別が困難なものは、採取した魚類をホルマリン等で固定して標本として持ち帰り、同定を行った。
底生動物	任意採集	調査地域内に設定した調査地点・範囲(河川)において、タモ網等を用いて任意に底生動物の採集を行った。採集した底生動物はホルマリンで固定して標本として持ち帰り、同定を行った。
真正クモ類	任意採集	調査地域内を任意に踏査し、目視観察等で確認されたクモ類の種名を記録した。また、目視観察で種名の確認が困難な場合は、捕虫網を振り回しクモ類を採集するスウィーピング法、樹木の枝、葉等を叩き、付着しているクモ類を採集するビーティング法も併用し採取した。さらに、現地での種の識別が困難なものは、標本として持ち帰り、同定を行った。
陸産貝類	任意採集	調査地域内を任意に踏査し、熊手等を用いて、目視観察及び捕獲により確認された陸産貝類の種名、個体数、確認位置等を記録した。また、微小な陸産貝類を対象に、リター層ごと採取して持ち帰り、同定を行った。

表 8-3-1-2 重要な種の選定基準

番号	文献及び法令名	区分
①	文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）	特天：特別天然記念物 天：天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 （平成 4 年、法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
③	静岡県文化財保護条例（昭和 36 年、静岡県条例第 23 号） 静岡市文化財保護条例（平成 15 年、静岡市条例第 281 号）	県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
④	静岡県希少野生動植物保護条例 （平成 23 年、静岡県条例第 37 号）	指定：指定希少野生動植物 特定：特定希少野生動植物
⑤	環境省第 4 次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類・昆虫類、貝類、その他無脊椎動物（平成 24 年、環境省） 環境省第 4 次レッドリスト 汽水・淡水魚類（平成 25 年、環境省）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 I 類 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
⑥	まもりたい静岡県の野生生物－県版レッドデータブック－動物編 2004（平成 16 年、静岡県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 I 類 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 N-I：要注目種（現状不明） N-II：要注目種（分布上注目種等） N-III：要注目種（部会注目種）
⑦	専門家の助言により選定した種	○：選定した種

8-3-2 調査期間

動物の現地調査は表 8-3-2-1 に示す時期に実施した。

表 8-3-2-1 調査期間

調査項目	調査手法	調査実施日
哺乳類	任意確認 (トラップ法)	春季 平成 25 年 5 月 21 日～23 日
		夏季 平成 25 年 7 月 23 日～25 日
		秋季 平成 24 年 10 月 30 日～11 月 3 日
爬虫類	任意確認	春季 平成 25 年 5 月 21 日～24 日
		夏季 平成 25 年 7 月 23 日～26 日
		秋季 平成 24 年 9 月 24 日～27 日
両生類	任意確認	春季 平成 25 年 5 月 8 日～10 日
		夏季 平成 25 年 7 月 23 日～26 日
		秋季 平成 24 年 9 月 24 日～27 日
昆虫類	任意採集	春季 平成 25 年 5 月 21 日～24 日
		夏季① 平成 25 年 7 月 23 日～26 日
		夏季② 平成 24 年 8 月 24 日～27 日
		秋季 平成 24 年 9 月 13 日～16 日
魚類	任意採集	春季 平成 25 年 5 月 21 日～23 日
		夏季 平成 25 年 7 月 23 日～25 日
		秋季 平成 24 年 10 月 31 日、11 月 2 日
		冬季 平成 24 年 12 月 8 日
底生動物	任意採集	春季 平成 25 年 5 月 8 日～9 日
		夏季 平成 25 年 7 月 23 日～25 日
		秋季 平成 24 年 10 月 31 日、11 月 2 日
		冬季 平成 24 年 12 月 8 日
真正クモ類	任意採集	春季 平成 25 年 5 月 21 日～24 日
		夏季① 平成 25 年 7 月 23 日～26 日
		夏季② 平成 24 年 8 月 24 日～27 日
		秋季 平成 24 年 9 月 13 日～16 日
陸産貝類	任意採集	夏季 平成 25 年 6 月 10 日～13 日
		秋季 平成 24 年 10 月 2 日～5 日

注 1. 本編 8-4-1 動物の調査時期は本編 8-4-1 を参照のこと。

8-3-3 調査結果

(1) 哺乳類

現地調査により確認された重要な哺乳類は1目1科1種であった。現地で確認された重要な哺乳類とその選定基準を表 8-3-3-1 に示す。

表 8-3-3-1 重要な哺乳類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	モグラ	トガリネズミ	カワネズミ						NT	
計	1目	1科	1種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種

注 1. 分類、配列等は、原則として「種の多様性調査（動物分布調査）対象種一覧」（平成 9 年、環境庁）に準拠した。

注 2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

(2) 爬虫類

現地調査により確認された重要な爬虫類は1目2科2種であった。現地で確認された重要な爬虫類とその選定基準を表 8-3-3-2 に示す。

表 8-3-3-2 重要な爬虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ						N-II	
2		ナミヘビ	シロマダラ						DD	
計	1目	2科	2種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	0種

注 1. 分類、配列等は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」（平成 24 年、日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

注 2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

(3) 両生類

現地調査により確認された重要な両生類は2目4科6種であった。現地で確認された重要な両生類とその選定基準を表 8-3-3-3 に示す。

表 8-3-3-3 重要な両生類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	有尾	サンショウウオ	ヒダサンショウウオ						NT	VU
2			ハコネサンショウウオ							VU
3	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル							N-III
4		アカガエル	ナガレタゴガエル							DD
5		アオガエル	モリアオガエル							NT
6		カジカガエル								NT
計	2目	4科	6種	0種	0種	0種	0種	1種	6種	0種

注 1. 分類、配列等は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」（平成 24 年、日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

注 2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

(4) 昆虫類

現地調査により確認された重要な昆虫類は4目9科11種であった。現地で確認された重要な昆虫類とその選定基準を表 8-3-3-4 に示す。

表 8-3-3-4 重要な昆虫類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	バッタ	キリギリス	スルガセモンササキリモドキ							N-III	
2		バッタ	タカネヒナバッタ							N-III	
3	コウチュウ	コガネムシ	オオチャイロハナムグリ					NT	DD		
4		カミキリムシ	トゲムネアラゲカミキリ							N-III	
5	ハチ	アリ	ツノアカヤマアリ					DD			
6		スズメバチ	キオビホオナガスズメバチ					DD			
7		アナバチ	コウライピソソ					DD			
8	チョウ	シジミチョウ	オナガシジミ							N-II	
9		タテハチョウ	コムラサキ							N-II	
10			オオミスジ							NT	
11			オオムラサキ						NT	N-III	
計	4目	9科	11種	0種	0種	0種	0種	5種	8種	0種	

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（平成5年、平成7年、平成10年、環境庁）に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

(5) 魚類

現地調査により確認された重要な魚類は2目2科2種であった。現地で確認された重要な魚類とその選定基準を表 8-3-3-5 に示す。

表 8-3-3-5 重要な魚類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	サケ	サケ	アマゴ					NT	N-II	
2	カサゴ	カジカ	カジカ					NT	CR	
計	2目	2科	2種	0種	0種	0種	0種	2種	2種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」（平成24年、国土交通省）に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

注3. ニッコウイワナは「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）において情報不足(DD)に選定されているが、大井川水系においては国内外来種であるため、重要種からは除外した。

注4. ヤマトイワナは、既往の知見によると相当上流部には生息しているとされているが、調査範囲においては確認されなかった。

(6) 底生動物

現地調査により確認された重要な底生動物は2目3科3種であった。現地で確認された重要な底生動物とその選定基準を表 8-3-3-6 に示す。

表 8-3-3-6 重要な底生動物確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	トビケラ (毛翅)	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ					NT		
2	ハエ (双翅)	アミカモドキ	ニホンアミカモドキ					VU		
3		ニセヒメガガンボ	Protoplasa 属※					DD		
計	2目	3科	3種	0種	0種	0種	0種	3種	0種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査 最新版 平成24年度版生物リスト」(平成24年、国土交通省)に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

※Protoplasa 属は、日本ではエサキニセヒメガガンボとアルプスニセヒメガガンボの2種が確認されており、いずれも「環境省第4次レッドリスト」でDD:情報不足に選定されている。

(7) 真正クモ類

現地調査により確認された重要な真正クモ類は1目4科6種であった。現地で確認された重要な真正クモ類とその選定基準を表 8-3-3-7 に示す。

表 8-3-3-7 重要な真正クモ類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	クモ	カネコトタテグモ	カネコトタテグモ					NT		○
2		ユウレイグモ	アケボノユウレイグモ							○
3		コガネグモ	マルコブオニグモ							○
4			ニシキオニグモ							○
5			オニグモ							○
6		ナミハグモ	エンシュウナミハグモ							○
計	1目	4科	6種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	6種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産クモ類目録」(平成24年、谷川明男)に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

(8) 陸産貝類

現地調査により確認された重要な陸産貝類は2目5科17種であった。現地で確認された重要な陸産貝類とその選定基準を表 8-3-3-8 に示す。

表 8-3-3-8 重要な陸産貝類確認種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	オカミミガイ (原始有肺)	ケンガイ	ケンガイ					NT			
2	マイマイ (柄眼)	キセルガイ	ツメギゼル					NT			
			ヒメギゼル						NT		
3		ベッコウマイマイ	カントウベッコウ					DD			
4			スカシベッコウ					NT			
5			クイロベッコウ					DD			
6			ハクサンベッコウ					DD			
7			トガリキビ					DD			
			ヒゼンキビ					NT			
8			ヒメハリマキビ					NT			
9			スジキビ					NT	NT		
10			オオウエキビ					DD			
11			ハチジョウヒメベッコウ					NT			
12			ニッポンマイマイ (ナンバンマイマイ)	カワナビロウドマイマイ					NT		
13				ミノブマイマイ					VU	VU	
14			オナジマイマイ	カドコオオベソマイマイ					NT		
15	ミヤマヒダリマキマイマイ						VU	NT			
計	2目	5科	17種	0種	0種	0種	0種	16種	4種	0種	

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅲ」(平成10年、環境庁)に準拠した。

注2. 重要な種の選定基準は表 8-3-1-2 による。

8-3-4 予測及び評価

現地調査により確認された重要な種に対し、林道東俣線等の改修の影響により生息環境が改変される程度について予測した。予測対象とした現地で確認された重要な種を表 8-3-4-1 に示す。

表 8-3-4-1 現地で確認された重要な種

分類	区分	種名
哺乳類	現地調査で確認された種 (1 種)	カワネズミ
爬虫類	現地調査で確認された種 (2 種)	ヒガシニホントカゲ、シロマダラ
両生類	現地調査で確認された種 (6 種)	ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、アズマヒキガエル、ナガレタゴガエル、モリアオガエル、カジカガエル
昆虫類	現地調査で確認された種 (11 種)	スルガセモンササキリモドキ、タカネヒナバタ、オオチャイロハナムグリ、トゲムネアラゲカミキリ、ツノアカヤマアリ、キオビホオナガスズメバチ、コウライピソン、オナガシジミ、コムラサキ、オオミスジ、オオムラサキ
魚類	現地調査で確認された種 (2 種)	アマゴ、カジカ
底生動物	現地調査で確認された種 (3 種)	オオナガレトビケラ、ニホンアミカモドキ、Protoplasa 属
真正クモ類	現地調査で確認された種 (6 種)	カネコトタテグモ、アケボノユウレイグモ、マルコブオニグモ、ニシキオニグモ、オニグモ、エンシュウナミハグモ
陸産貝類	現地調査で確認された種 (17 種)	ケシガイ、ツメギゼル、ヒメギセル、カントウベッコウ、スカシベッコウ、クリイロベッコウ、ハクサンベッコウ、トガリキビ、ヒゼンキビ、ヒメハリマキビ、スジキビ、オオウエキビ、ハチジョウヒメベッコウ、カワナビロウドマイマイ、ミノブマイマイ、カドコオオベソマイマイ、ミヤマヒダリマキマイマイ

分類ごとの予測結果は下記のとおりである。

(1) 哺乳類

予測対象種は、カワネズミ 1 種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、道路舗装の範囲は工事用車両の通行に必要な幅員にとどめる計画としており、道路の周辺には予測対象種の生息環境が広く残されることから、生息環境は保全される。さらに、改修工事に伴う濁水等及び凍結防止剤の河川への流入の影響は河川流量を考慮すると非常に小さく河川への影響はほとんどないと考えられるため、予測対象種への影響は及ばない。

したがって、林道東俣線等の改修工事による影響の程度はわずかであり、重要な哺乳類の生息環境は保全されると予測する。

(2) 爬虫類

予測対象種は、ヒガシニホントカゲ、シロマダラの2種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、道路舗装の範囲は工事用車両の通行に必要な幅員にとどめる計画としており、道路の周辺には予測対象種の生息環境が広く残されることから、生息環境は保全される。

したがって、林道東俣線等の改修工事による影響はないため、重要な爬虫類の生息環境は保全されると予測する。

(3) 両生類

予測対象種は、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、アズマヒキガエル、ナガレタゴガエル、モリアオガエル、カジカガエルの6種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、道路舗装の範囲は工事用車両の通行に必要な幅員にとどめる計画としており、道路の周辺には予測対象種の生息環境が広く残されることから、生息環境は保全される。さらに、改修工事に伴う濁水等及び凍結防止剤の河川への流入の影響は河川流量を考慮すると非常に小さく河川への影響はほとんどないと考えられるため、河川を生息環境とする予測対象種への影響は及ばない。

したがって、林道東俣線等の改修工事による影響の程度はわずかであり、重要な両生類の生息環境は保全されると予測する。

(4) 昆虫類

予測対象種は、スルガセモンササキリモドキ、タカネヒナバタ、オオチャイロハナムグリ、トゲムネアラゲカミキリ、ツノアカヤマアリ、キオビホオナガスズメバチ、コウライピソン、オナガシジミ、コムラサキ、オオミスジ、オオムラサキの11種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、道路舗装の範囲は工事用車両の通行に必要な幅員にとどめる計画としており、道路の周辺には予測対象種の生息環境が広く残されることから、生息環境は保全される。さらに、工事で使用する道路周辺の粉じん等は、道路舗装の実施に加え、車両の洗浄等や適切な配車計画を行うことにより発生を抑制できることから予測対象種の生息環境への影響は及ばない。なお、道路の舗装に際し、沢筋部分等について水が滞留するよう道路端部に舗装しない幅を設けたり、土側溝を残したりすること（多自然化）により、チョウ等の生息環境への影響は少ないと考えられる。

したがって、林道東俣線等の改修工事による影響の程度はわずかであり、重要な昆虫類の生息環境は保全されると予測する。

(5) 魚類

予測対象種は、アマゴ、カジカの2種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、改修工事に伴う濁水等及び凍結防止剤の河川への流入の影響は河川流量を考慮すると非常に小さく河川への影響はほとんどないと考えられるため、予測対象種への影響は及ばない。

したがって、林道東俣線等の改修工事による影響の程度はわずかであり、重要な魚類の生息環境は保全されると予測する。

(6) 底生動物

予測対象種は、オオナガレトビケラ、ニホンアミカモドキ、Protoplasm 属の3種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、改修工事に伴う濁水等及び凍結防止剤の河川への流入の影響は河川流量を考慮すると非常に小さく河川への影響はほとんどないと考えられるため、予測対象種への影響は及ばない。

したがって、林道東俣線等の改修工事による影響の程度はわずかであり、重要な底生動物の生息環境は保全されると予測する。

(7) 真正クモ類

予測対象種は、カネコトタテグモ、アケボノウユレイグモ、マルコブオニグモ、ニシキオニグモ、オニグモ、エンシュウナミハグモの6種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、道路舗装の範囲は工事用車両の通行に必要な幅員にとどめる計画としており、道路の周辺には予測対象種の生息環境が広く残されることから、生息環境は保全される。

したがって、林道東俣線等の改修工事による影響の程度はわずかであり、重要な真正クモ類の生息環境は保全されると予測する。

(8) 陸産貝類

予測対象種は、ケシガイ、ツメギゼル、ヒメギセル、カントウベッコウ、スカシベッコウ、クリイロベッコウ、ハクサンベッコウ、トガリキビ、ヒゼンキビ、ヒメハリマキビ、スジキビ、オオウエキビ、ハチジョウヒメベッコウ、カワナビロウドマイマイ、ミノブマイマイ、カドコオオベソマイマイ、ミヤマヒダリマキマイマイの17種である。

林道東俣線等の改修工事により、予測対象種の生息環境の改変は行わないため、生息環境は保全される。また、道路舗装の範囲は工事用車両の通行に必要な幅員にとどめる計画としており、道路の周辺には予測対象種の生息環境が広く残されることから、生息環境は保全される。したがって、林道東俣線等の改修工事による影響の程度はわずかであり、重要な陸産

貝類の生息環境は保全されると予測する。

以上の予測結果から、林道東俣線等の改修工事による動物への影響の程度はわずかであり、重要な種の生息環境は保全されると予測する。

このことから、林道東俣線等の改修工事による動物に係る環境影響はないと考えられ、環境保全措置の検討は行わないこととした。

したがって、林道東俣線等の改修工事による動物に係る環境影響はないと評価する。

8-4 同定に注意が必要な種

8-4-1 ホンシュウトガリネズミとアズミトガリネズミ

ホンシュウトガリネズミとアズミトガリネズミについて、「日本の哺乳類 [改訂 2 版]」（平成 20 年、東海大学出版会）によると、アズミトガリネズミは、ホンシュウトガリネズミよりもやや小型で尾が長く、後足が小さいが、外形はきわめてよく似ている（表 8-4-1-1）。これらの計測値と併せて、上顎の単尖歯の特徴から現地調査での確認個体をホンシュウトガリネズミと同定した（表 8-4-1-2）。

表 8-4-1-1 種の形態

区分	頭胴長 (mm)	尾長 (mm)	後足長 (mm)	体重 (g)
ホンシュウトガリネズミの 文献値	52~78	40~55	11.4~13.5	3.9~13.5
アズミトガリネズミの文献値	46~66	47~52	10.6~12.2	4.5 前後

注 1. 「日本の哺乳類 [改訂 2 版]」（平成 20 年、東海大学出版会）を参考文献として使用した。

表 8-4-1-2 上顎の単尖歯の特徴

種名	上顎の単尖歯の特徴
ホンシュウトガリネズミ	上顎の単尖歯は横から見て、ほぼ等高の第 1 と第 2 が、ほぼ等高の第 3 と第 4 より明らかに高い。
アズミトガリネズミ	上顎の単尖歯は横から見て、第 1 が他より著しく大きく、ほぼ同大の第 2 と第 3 は第 4 より明らかに大きい。

注 1. 「日本の哺乳類 [改訂 2 版]」（平成 20 年、東海大学出版会）を参考文献として使用した。

8-4-2 ニイガタヤチネズミとスミスネズミ

ニイガタヤチネズミとスミスネズミについて、「日本の哺乳類 [改訂 2 版]」（平成 20 年、東海大学出版会）によると、これら 2 種の識別に従来用いられてきた尾率（尾長/頭胴長）を用いるのは妥当ではないため（表 8-4-2-1）、外部形態の計測の他、頭骨の聴胞の形態の特徴から現地調査での確認個体を同定した（表 8-4-2-2）。

表 8-4-2-1 種の形態

区分	頭胴長 (mm)	尾長 (mm)	後足長 (mm)	体重 (g)
ニイガタヤチネズミの文献値 (中部山岳)	79~118	50~77	18.5~21.5	19~42
スミスネズミの文献値	70~115	30~50	15.5~18	20~35

注 1. 「日本の哺乳類 [改訂 2 版]」（平成 20 年、東海大学出版会）を参考文献として使用した。

表 8-4-2-2 頭骨の聴胞の特徴

種名	頭骨の聴胞の形態の特徴
ニイガタヤチネズミ	スミスネズミと比べて聴胞は大きく膨らんでいる。
スミスネズミ	ニイガタヤチネズミと比べて聴胞は小さくて扁平である。

注 1. 「日本の哺乳類 [改訂 2 版]」（平成 20 年、東海大学出版会）を参考文献として使用した。

8-4-3 ヤマトイワナとニッコウイワナ

ヤマトイワナとニッコウイワナは、「水産育種（アイソザイムからみた大井川源流域におけるイワナ 2 河川集団の遺伝的差異）」（平成 10 年、水産育種研究会）によると、大井川源流域のヤマトイワナは、体側に白色斑点が無く、明瞭な橙黄色斑点のみを持つ在来集団であったが、亜種ニッコウイワナ（背部から体側に白色斑点を持つ）の人工種苗放流によって亜種間の交雑が起こり、背部に白色斑点を有する個体が増加した可能性が示唆されている。

これを踏まえて、複数の文献資料を参考に、同定の対象とする個体（表 8-4-3-1）について、斑点の発現状況（表 8-4-3-2）から、現地調査での確認個体の同定を行った。また、成熟個体がいないと考えられる体長約 10cm 以下の個体及び斑点が両亜種の間隔的な特徴を示す等、斑点の発現状況（表 8-4-3-2）から同定が困難な個体については、「イワナ類」として記録した。

これらの結果について専門家の確認を受け、交雑によると考えられる中間的な形質が認められるものの、ヤマトイワナと判定されるものはないとされたことから、現地調査での確認個体は、ニッコウイワナ又はイワナ類とした。

表 8-4-3-1 同定の対象とする個体

種名	斑点の発現状況
ヤマトイワナ	雌雄ともほとんどの個体が成熟するとされる全長約 21cm 以上の個体
ニッコウイワナ	成熟個体が現れ始めるとされる体長約 10～13cm 以上の個体

注 1. 使用した参考文献は以下のとおりである。

- ・「資源科学研究所彙報（日本産イワナ属魚類の分布と変異）」（昭和 37 年、資源科学研究所）
- ・「淡水魚 増刊イワナ特集号（イワナの資源管理について）」（昭和 55 年、財団法人淡水魚保護協会）
- ・「長野水試研報（長野県における野生イワナの成熟全長）」（平成 6 年、長野県水産試験場）

表 8-4-3-2 斑点の発現状況

種名	斑点の発現状況
ヤマトイワナ	体側に朱紅色～橙黄色斑点のみが散在
ニッコウイワナ	側線から腹側に橙黄色斑点が散在し、側線から背部により小さな白色斑点が散在

注 1. 使用した参考文献は以下のとおりである。

- ・「水産育種（アイソザイムからみた大井川源流域におけるイワナ 2 河川集団の遺伝的差異）」（平成 10 年、水産育種研究会）
- ・「日本産魚類検索 全種の同定 第二版」（平成 12 年、東海大学出版会）
- ・「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚 改訂版」（平成 13 年、山と溪谷社）

